

【資料 1 - 1】

令和 4 年 1 月 27 日
幼保小連携推進協議会

令和 3 年度の幼保小連携取組について

1 幼保小連携研修会(資料 1 - 2)

(1) 管理職対象

「幼児期と児童期をつなぐ学びの実～非認知的能力の重要性と幼保小連携～」

講師 千葉大学教育学部 教授 砂上 史子

○ 開催日時/参加人数

- ・ 令和 3 年 7 月 5 日(月)
- ・ * 2 日開催予定を合同開催とし、1 日で行った。
- ・ 校・園長 : 165 名 (参考 : 令和 2 年度は 197 名の参加)

○ 研修方法

- ・ 意見交換会は行わず講演のみ行い、会場での受講も可とした。
- ・ 講演の YouTube 配信を事前周知した。
- ・ YouTube 配信 7 月 28 日～8 月 10 日 視聴回数 189 回

○ アンケート結果(一部)

- ・ 幼児期にどのような力をつけてあがってくるのか参考になり、「遊び込む」とは、小学校低学年での体験差につながり、学びの豊かさにも大きく影響していると感じた。
- ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について改めて園で見直し、接続期にしっかり対応していきたいと思った。
- ・ 非認知的能力について関心が高い。配信を行ったことで、担任も講演を視聴することができた。
- ・ 特別な支援を必要とする子へのアプローチや特別支援教育に係る幼保小の接続について研修したい。
- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で開催したが、講演のみであれば、オンライン等での研修も検討してほしい。
- ・ 意見交換の意味や時間確保等の要望が多数。

○ 講師希望

- ・ 汐見先生 ・ 大豆生田先生 ・ 砂上先生 ・ 特別支援関係の講師

(2) 担任対象

「幼保小の円滑な接続を目指して一スタートカリキュラムの具体例より一」

講師 練馬区立仲町小学校 校長 米田 典子

- 開催日時/参加人数
 - ・令和3年8月2日(月)、8月3日(火)
 - ・1年、5歳児担任：164名（参考：令和2年度は実施なし）
- 研修方法
 - ・講演＋意見交換
 - ・新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で実施し、意見交換の時間を短くした。
- アンケート結果(一部)
 - ・入学直後の教育について、相互理解を深める機会となった。
 - ・接続期における小学校でのスタートカリキュラムについて、初めて学んだ。
 - *小学校の担任を含め、幼稚園・保育園の教職員では、8割を超えた。
 - ・自校のスタートカリキュラムを見直す必要があると感じた。子どもたちと一緒に考える大切さを知った。
 - ・特別な支援を必要とする子の連携について講演や意見交換ができるとよい。
 - ・入学前の様子を見る機会を企画してほしい。
 - ・対面での意見交換は有意義であり、時間確保等の要望が多数。
- 講師希望
 - ・米田先生 ・養老孟司先生

2 幼稚園・保育所と小学校との懇談会（資料1－3）

(1) 実施内容

- ・区内8地区で、各地区担当の小学校長、1年担任等との懇談会を開催した。
- ・10月～11月に開催。
- ・授業参観、事前質問(各就学前施設からの質問を集約)等を議題に懇談を行った。

(2) アンケート結果(一部)

- ・2年ぶりに小学校の見学ができて大変勉強になった。コロナ禍の中での授業の変化や、懇談会で先生から子どもたちの姿や就学に向けて良いアドバイスが得られた。
- ・少しの時間でも、近隣の幼稚園・保育園の先生方と話をすることができて良かった。
- ・幼稚園、保育園での年長の姿を見る機会もつくってほしい。
- ・幼保小のかけはしプログラムについて懇談を行い、円滑な接続を目指したい。
- ・懇談会として話をする時間(グループ討議など)がもう少しあるとよい。
- ・参加施設数が多くなり、地区によって偏りがある。小さい集団に地域分けなど見

直してもよいのではないか。

- ・開催方法や内容について検討する時期にきているのではないか。
- ・特別支援学級、特別支援教室を見学したい。

3 保護者向けリーフレット「もうすぐ1年生」

(1) 内容および目的

各幼稚園・保育所等をとおして5歳児の保護者に配布。

幼児期に家庭で大切にしたいことや心掛けてほしいこと、小学校の様子や子育て相談などの支援制度を周知することにより、小学校への入学を控えた子どもや保護者の不安軽減につなげる。

(2) 配布先および部数

公立幼稚園・保育所、認証保育所、小学校に保護者数分 11,000部

(3) 配布時期

令和3年9月

4 「小学校の行事等一覧表」「幼保小連携に資する施設名簿」「地区割」

(1) 内容および目的

- ・交流・連携を行う際の窓口となる連絡先や、小学校の学校公開や運動会等の行事一覧化。情報共有する意識を高め、交流・連携のきっかけを作る。
- ・園から各家庭にも伝えて、学校公開の利用を促してもらう。

(2) 配付先および配布数

公立幼稚園・保育所および区立小学校に1部

(3) その他

新型コロナウイルスの影響で、学校の行事や学校公開日の変更、地域開放を行わない状況になったが、情報提供として参考配付とした。

5 外国籍児童・保護者向け入学ガイドブック(案) (資料2-1、2-2)

- ・外国籍児童と保護者に対し、日本の教育に関する文化や制度、学校生活の内容を盛り込んだ小学校入学(転入学)ガイドブックを作成。
- ・令和3年度発行予定。